※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	芸術表現音楽	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現する意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	曲想にふさわしい歌い方を探ろう	【歌唱】 「愛のうた」（３部）	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。(技能) b: 言葉の特性と曲種に応じた発声の関わりによって生み出される効果を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて個性豊かな表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、歌唱表現の多様さに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
	様々な音・役割の調和を感じて演奏しよう	【器楽】アンサンブル 「クラッピングカルテット」 「鍵盤楽器を使った合奏」	a: パートの役割や、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(知識) a:パートの役割や、音色に応じた身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:パートの役割や、曲想、楽器の音色、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色との関わりについて、様々なパートの役割に関心をもち、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	ギター伴奏で、音楽の構造に合わせて効果的に表現しよう。	【器楽・創作】ギター弾き語り 「ありがとう」	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。(知識) a:音楽の構成にふさわしい奏法や、身体の使い方などの技能を身に付けている。(技能) a:音型やリズムの特徴及び音楽の構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) a:変化、対照などの手法を活用して編曲する技能を身に付けている。(技能) b:音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 b:音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに音楽をつくろうとする表現意図をもっている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的によりよい表現を追求する学習活動に取り組もうとしている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表 ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

前期期末	全体の響きを感じて、合唱しよう	【歌唱】 「虹」（3 部）	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりや、合唱による表現の特徴について理解している。（知識） a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。（技能） b:パートの役割や音の重なりを知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞との関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、合唱による表現の特徴を理解し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	変奏に挑戦しよう	【鑑賞】 「きらきら星変奏曲」	a: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。(知識) b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	鑑賞の記録	鑑賞の記録	観察 鑑賞の記録
		【創作】 「グループによる変奏曲の創作」	a: 音型や構成の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) a 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。(技能) b:旋律や構成、手法に関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c: 音型の特徴や構成の特徴と表したいイメージとの関わりについて理解したり、手法を意識し、創意工夫して主体的・協働的に創作表現する学習に取り組もうとしている。	ワークシート 楽曲発表	楽曲発表 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度